

Z世代で伸びるスムージー・フラッペ、 外食・中食機会数は9年前同期比 36%増

<外食・中食 調査レポート>

2025年2月13日

サカーナ・ジャパン株式会社

(エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更)

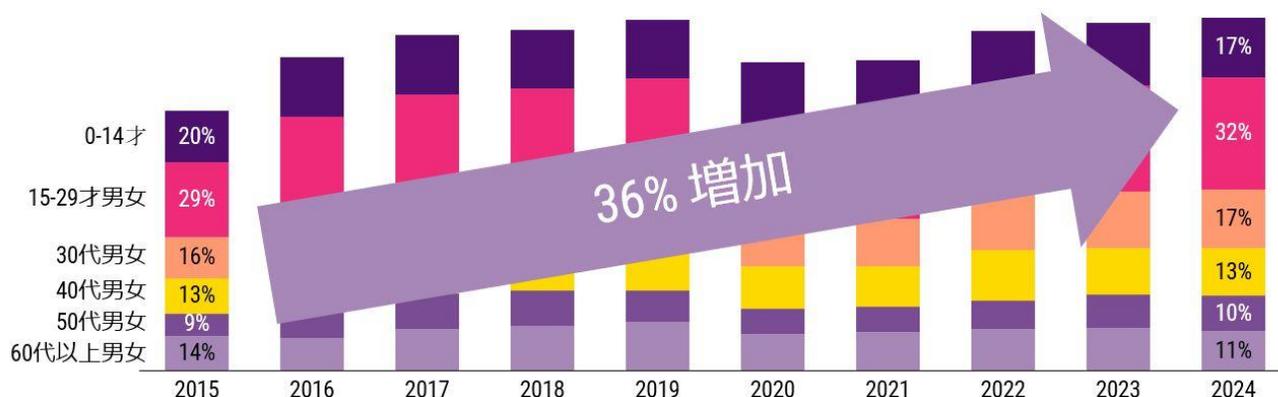
外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するサカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更、東京都港区、ケビン・ソー代表）は、外食・中食市場レポートを2025年2月13日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2023年11月-2024年10月計の外食・中食全体におけるスムージー・フラッペ・シェイクの食機会数は9年前同期比で36%増でした。年代比率は、Z世代（15-29才）が32%を占め、全体の食機会数増加を牽引しています。

スムージー、フラッペ・シェイクの食機会数は9年前同期比で36%増

2023年11月-2024年10月計の外食・中食全体におけるスムージー・フラッペ・シェイクの食機会数は9年前同期比で36%増でした（図表1）。年代比率は15-29才のZ世代が2023年11月-2024年10月計に32%を占め、全体の食機会数増加を牽引しています。

<図表1>外食・中食計-スムージー・フラッペ・シェイク
年代別食機会数シェア
2015年-2024年



出典: Circana, CREST®, 2014年11月-2024年10月
各年10月までの12か月間計

サカーナ・ジャパン フードサービスシニアアカウントマネージャーである、味岡まゆみ（あじおか・まゆみ）は、次のように話します。「外食・中食全体における飲料の食機会数は、コロナ渦で減少し、その後も低成長となっていますが、カテゴリー別に見ていくとコロナ前より

も増加している飲料カテゴリーもあり、スムージー・フラッペ・シェイクなどがその一つです。近年、ファストフード店やコンビニ、カフェ業態以外の飲食店でも提供されるようになり、購入機会が増えていることも増加要因ですが、消費者の意識や価値観も変化しております。Z世代は流行に敏感な世代ではありませんが、『高品質であれば、多少値段が高くてでも買う』という価値観の人も増えています。商品カテゴリー別にターゲットを設定し、そのターゲットがどのような価値観をもっているのかを理解することは、価格や商品戦略を立てる上で重要です。」

本分析の詳細をもっと知りたい方へ

外食・中食マーケットトレンドオンデマンドウェビナー開催

Z世代で伸びるスムージー・フラッペに関する詳細の分析レポートは、2025年2月18日(火)から2月27日(水)まで開催の、無料オンデマンドウェブセミナーをご紹介します。

サカーナ・ジャパンの3人のフードサービスエキスパートが、外食・中食業界に携わる、さまざまな業種・職種の方に向けて、3つの視点からインサイトを提供します。

- ◎ 少子高齢化で増加するシニア世代の市場理解 (石川 麗 シニアアカウントマネージャー)
- ◎ Z世代で伸びるスムージー・フラッペ (味岡 まゆみ シニアアカウントマネージャー)
- ◎ 人口減少：外食中食への影響 (東 さやか フードサービス事業部長)

詳細・申込は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://event.on24.com/wcc/r/4826820/C674AC557A5382885662BB6B10960922>

*1 [CREST®](#)

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

サカーナ・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : circanajapan.info@circana.com



■会社概要

会社名 サカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更）

英名 Circana Japan Ltd.

設立年月日 2003年 4月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

代表者 ケビン・ソー